

北海道・札幌冬季競技団体連絡会議

令和7年8月7日

議題 1

さっぽろスノースポーツパーク2026 への協力について

札幌市

目 的

- ウィンタースポーツ・パラスポーツの普及振興・魅力発信
- 世界屈指のウィンタースポーツシティの実現
- 札幌ならではの新たな冬の賑わいの創出

さっぽろスノースポーツフェスタ（2020年～2024年）

「さっぽろスノースポーツフェスタ」は、2020年から事業がスタートし、クロスカントリースキー大会（ジュニア・パラの部）とウィンタースポーツ体験会をメインに、これまでに3回開催

【大通公園大会 2020】



日 時：2020年2月16日
会 場：大通公園6～10丁目
参加者：6,300名

【真駒内公園大会 2023】



日 時：2023年2月11日
会 場：真駒内屋外競技場・豊平川河川敷
参加者：359名（コロナで規模縮小）

【豊平川河川敷大会 2024】



日 時：2024年2月11日
会 場：豊平川河川敷(南大橋付近)
参加者：2,928名

さっぽろスノースポーツパーク（2025年～）

- 「さっぽろスノースポーツフェスタ」を継承し、雪まつり特別連携行事として規模拡大を図り「さっぽろスノースポーツパーク」と名称を変更して、2025年に初開催した
- クロスカントリースキー大会やウィンタースポーツ体験会のほか、スポーツ・グルメ・アートコンテンツを展開し、スポーツパークとして賑わいを創出した



さっぽろスノースポーツパーク2025概要

日 時：2025年2月7日～9日

会 場：大和ハウス プレミストドーム

参加者：32,000名

さっぽろスノースポーツパーク実行委員会の構成

北海道・札幌冬季競技団体連絡会議

札幌ドーム活性化プロジェクト実行委員会

日本障害者スキー連盟

札幌商工会議所ウェルビーイング推進特別委員会

札幌商工会議所青年部

札幌観光協会

さっぽろスノースポーツパーク2026への協力について

さっぽろスノースポーツパーク2025の様子

クロスカントリー競技大会

観戦文化の醸成



ウインター・パラスポーツ体験会

ウインター・パラスポーツの普及振興



賑わいイベント

新たな札幌の賑わい創出



さっぽろスノースポーツパーク2025の様子

クロスカントリースキー



スケルトン



リュージュ



カーリング



バイアスロン



アイスホッケー/スケート



シットスキー



車いすカーリング



パラバイアスロン



バيسキー/チェアスキー



ウィンタースポーツ 7種目
パラスポーツ 5種目

さっぽろスノースポーツパーク2026 概要

日程：2026年2月7日（土）～8日（日） 2日間

会場：大和ハウス プレミストドーム

コンテンツ（予定）：クロスカントリースキー競技大会、歩くスキー（ファンラン含む）、
ウインタースポーツ・パラスポーツ体験会、アスリートトークショー、
グルメコンテンツ、雪像など

「さっぽろスノースポーツパーク2026」では、ウインタースポーツシティの実現にむけて、競技団体連絡会議のみなさんと連携し、ウインタースポーツ・パラスポーツのさらなる普及振興を目指していきたいと考えております。

【協力依頼内容】

・指導員の派遣 ・オリンピックの派遣 ・用具の貸出 など

みなさんへの協力依頼については、イベントの詳細が決まった段階で改めて個別に相談させていただきますので、よろしくお願いします。



議題 2

ウィンタースポーツ振興 に向けた取組について

札幌市・北海道

① 北海道のウィンタースポーツに関する取組など

北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課

国際交流の推進・冬季スポーツの振興

● カーリングの未来2025

(カナダ・アルバータ州姉妹提携45周年を記念した啓発事業)

7/19 カナダから講師を招聘した講演会・トークイベント
7/20 指導者講習会・カーリング教室

北海道の地域特性を活かした冬季パラスポーツの体験を通じたすそ野拡大

● 第3回 北海道インクルーシブパーク

2/6～7 (予定)
赤れんが前庭

障がい者と健常者の交流を通じた理解促進と支援の輪の拡大

● 第3回 北海道ボッチャフェス

10/5 第1回予選
11/9 第2回予選
12/7 第3回予選・決勝

● 第4回 北海道みらい運動会

～みんなでチャレンジ！パラスポーツ～

開催日、開催地は、調整中

将来有望な選手の発掘・育成

● 北海道タレントアスリート発掘・育成事業(カーリング)

● 北海道パラアスリート発掘プロジェクト

6/29 パラスポーツ体験会&測定会(札幌国際大学)
8/20 ブラインドスポーツ体験会(北海きたえーる)(予定)
9/13 パラスポーツ体験会(大和ハウスプレミストドーム内)(予定)
※北海道コンサドーレ札幌との連携事業

子ども達にスポーツを体験する機会を提供・すそ野拡大

● 子どもスポーツチャレンジ教室

● オリンピアン・パラリンピアン等によるセミナー・体験会



②冬季国際大会誘致について【札幌市】

目 的

- 国際スポーツ大会を誘致することにより「ウィンタースポーツの普及振興」、「観戦文化の醸成」、「選手の育成強化」を進めるとともに、継続して開催することにより、大会運営能力の維持・向上を図る
- 国際スポーツ大会の開催により、札幌の魅力を世界に発信するとともに、集客効果による経済活性化につなげる

主な実績

- ・「2015カーリング女子世界選手権」
- ・「2016FISスノーボードハーフパイプワールドカップ」
- ・「2017IPCノルディックスキーワールドカップ」
- ・「2019ワールドパラノルディックスキーワールドカップ」
- ・「2019NHK杯国際フィギュアスケート競技選手権」
- ・「2022NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」
- ・「2023FISパラノルディックスキーアジアカップ」
- ・「2024FISパラアルペンスキーワールドカップ」
- ・「2025FISパラノルディックスキーアジアカップ」
- ・「2026FISスノーボードハーフパイプワールドカップ」（予定）



③子供のスポーツ振興の取組について【札幌市】

■ さっぽろジュニアアスリート発掘育成事業

事業目的「さあ、行こう。札幌から世界へ」

札幌市から次世代のトップアスリート輩出を目指し、ジュニア選手の発掘及び育成を図る。

発掘事業



札幌市内から
有望な小学生を発掘

応募者3,900名から合計43名を選抜
(事業開始令和3年度～令和6年度実績)

発掘プロジェクト



ジュニア期に必要な知識や
トレーニングの習得

U10 (小2～4対象) : マルチスポーツ
による総合的な運動機能の育成
U12 (小5～6対象) : 種目別の専門的
な練習でスキル向上
→各競技団体の強化指定選手を目指す

育成事業



種目を選択して
トップアスリートを目指す

プロジェクト修了生を競技団体や
チームに引き継ぎ、全国・世界の
舞台で活躍する選手を育成

③子供のスポーツ振興の取組について【札幌市】

■ さっぽろジュニアアスリート発掘育成事業 「発掘プロジェクト」

【目 的】

発掘事業（スポーツ能力測定会）で選出した有望な人材をプロジェクト生として、ジュニア期に必要なトレーニングや座学を実施し、トップアスリートになるための能力や知識を身に着ける。

【実施体制】

プロジェクト	アドバイザー	阿部 雅司 氏
プロジェクト	トレーニング監修	豊田 太郎 氏

【活 動】

全175回（令和6年度実績）

【会 場】

中島体育センター／つどーむ／円山総合運動場／どうぎんカーリングスタジアム 他

【令和6年度プロジェクト生人数】

23名 ※札幌市内小学3年生～6年生



③子供のスポーツ振興の取組について【札幌市】

■ さっぽろジュニアアスリート発掘育成事業 「育成事業」

【目的】

各競技団体から推薦された有望な選手を、実績ある指導者からの指導や強化合宿の実施を通じて、競技団体の元で強化育成を図り、国際大会で活躍する選手を目指す。

【メイン種目】

スノーボード・スキージャンプ・カーリング・
フリースタイル・ノルディックコンバインド・
陸上・バドミントン・テニス

【令和6年度実績】

○育成選手	<u>97名</u>
○強化合宿実施回数	<u>25回</u>
○国内大会入賞者	<u>13名</u>
○国際大会出場者	<u>1名</u>
○国内強化指定選手	<u>78名</u> ※累計/卒業選手含む



引き続き競技団体との連携を深め、アスリート育成を促進したい

④ ウィンタースポーツシティ 施設整備計画について【札幌市】

大倉山・宮の森ジャンプ競技場の改修

目的

大倉山、宮の森ジャンプ競技場は、ジャンプ台の形式を**最新の国際競技規則に適合させるための改修**を行い、**今後継続して国際大会を開催**するとともに、**選手の強化・育成環境の確保**を図っていく。この改修により、施設の価値を維持・向上させていく。



事業効果

大倉山ジャンプ競技場に、ノーマルヒルを併設化することで、**大会運営の効率化、選手の強化・育成の効率化**に加え、**整備費や維持管理費の低減**などの効果があるほか、山頂へのアクセスや観戦環境の充実、バリアフリー対応など、**市民や観光客の利便性・快適性の向上**を図ることで、**更なる魅力向上**を目指す。

検討状況

2028年度までのFIS公認更新を目指し、ラージヒル改修を先行して設計に着手。ノーマルヒル併設化に向けて、適切な環境保全対策等の検討を進めている。

④ ウィンタースポーツシティ 施設整備計画について【札幌市】

新スケート・カーリング場の整備

目的

氷上スポーツの振興・裾野拡大に向け、競技環境の確保・充実を図るとともに、2030年頃に更新時期を迎える美香保体育館の機能を維持・拡大するため、後継施設をつどーむ敷地内に整備する。



事業効果

既存施設の更新に併せ、現状の諸室不足への対応やスケートリンクを通年化するとともに、5シートを備えたカーリングリンクを新設する等、機能の拡充を図ることで、質の高い競技環境を確保することが可能となる。

スケジュール

2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)	2029年度 (R11年度)	2030年度 (R12年度)
基本計画 策定	要求水準等 検討	事業者選定	設計・施工（R12年度中の供用開始を目指す）			

④ ウィンタースポーツシティ 施設整備計画について【札幌市】

新月寒体育館の更新

目的

氷上スポーツの振興・裾野拡大に向け、国際大会等の公式試合を観る・魅せる施設としての活用を図るとともに、2030年頃に更新時期を迎える月寒体育館の後継施設を整備する。



事業効果

将来にわたり、市民や観光客へ質の高いスケート利用環境を継続的に提供することが可能となることに加え、氷上競技の国際大会等の開催・運営に対応可能な機能を充実させることにより、札幌市のスポーツ・観光資源としての魅力と価値を一層高める効果が期待できる。

検討状況

新月寒体育館（アイスリンク）については、アイスリンク基本構想の中でプレミストドーム周辺を立地場所の候補地とし、ドーム周辺のスポーツ交流拠点整備の一環として検討を進めている。